

## 6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温暖な地方です。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び内湾沿岸は海岸性の気候で比較的暖かくなります。

雨量は地域により差はありますが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少なくなります。特に内湾沿岸は本県でも雨量の少ない地域です。

### 平成20年の天候の特徴

1～2月は、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し天気は周期的に変わり、寒気が南下したため気温の低い日が続きました。4～5月は、本州の南岸沿いを低気圧が頻繁に通過したため、曇りや雨の日が多くなりました。7月は、梅雨前線の活動が弱く太平洋高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。8月下旬には、上空の寒気や湿った気流の影響で局地的な大雨が発生しました。9～10月は、南海上を通過した台風第13号や低気圧の影響で大雨となりました。11～12月は、天気は周期的に変わり、気温の変動が大きくなりました。

年間降水量は、県北部で平年と比べてかなり多くなりました。

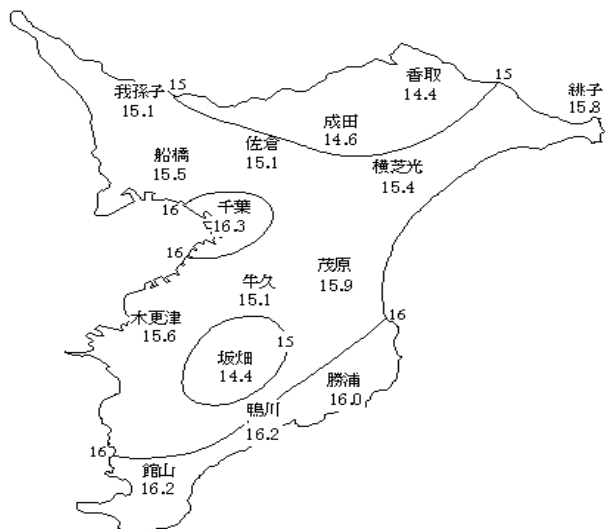
### 平成21年の天候の特徴

1～4月は、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し天気は周期的に変わり、気温の変動が大きくなりました。5月は、高気圧に覆われ晴れた日や、南から暖かい空気が入る日が多く、気温はかなり高くなりました。6～7月は、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。8月は、9日から10日に台風第9号、月末に台風第11号の影響で大雨となりました。10月は、台風第18号、台風第20号の影響で雨となった日もありましたが、中旬を中心に、晴れた日が多くありました。11～12月は、天気は周期的に変わり、気温の変動が大きくなりました。

年間降水量は、平年並み～かなり多く、年間日照時間は平年並み～少なくなりました。

## 気象分布図 平成21年

県内年間平均気温( )



県内年間降水量(mm)

